

# 目次

## 現代に生きる古典

- 人類への大きな遺産 4 / 資本主義のしくみの解明 5
- 強まる資本主義の矛盾 9 / 労働者の歴史的使命と古典 11

## マルクス・エンゲルス『共産党宣言』

- 『宣言』の生い立ち 14 / 科学的社会主義の宣言 16
- 共産主義者はいかにあるべきか 17 / 不滅の炬火として 19

## レーニン『マルクス主義の三つの源泉と三つの構成部分』

- 執筆の背景 24 / 人類の偉大な遺産を継承して 25
- 哲学的唯物論の完成 27 / 経済学と社会主義思想 29

## エンゲルス『空想より科学へ』

- 発刊のいきさつ 34 / 社会主義 36 / 科学的社会主義の発展 39

## エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態』

- マンチェスター体験 44 / ルポの先駆的な傑作 46 / 革命主体の発見 48

## マルクス『賃労働と資本』

- 革命のさなかで 54 / 『賃労働と資本』の成りたち 57
- 資本主義のしくみを活写 59

## マルクス『賃金・価格および利潤』

- 第1 インタナショナルの中で 64 / 経済学の最良の入門書 66
- 階級対立の基礎を解明 68 / 賃金制度の廃止が最終目標 69

## マルクス『資本論』

- 困苦と友情の所産 74 / きびしい先覚者の道 77 / 最高の科学と革命の書 79

## マルクス『フランスにおける内乱』

- パリ・コミューンの成立 84 / コミューンの崩壊 85
- マルクスの活躍 88 / これがプロレタリアートの独裁 89

## マルクス『ゴータ綱領批判』

- マルクス最後の傑作 94 / ラサール主義をきびしく批判 97
- 共産主義の2段階 99

## エンゲルス『猿の人間化における労働の役割』

- 人類発生の謎の解明 104 / 労働がすべてのもと 106
- 人間と自然の関わり 109

## エンゲルス『家族・私有財産・国家の起源』

- モーガンとマルクスを継承して 114 / 人類の前史から未来まで 116
- 国家の形成と死滅 118

## エンゲルス『フォイエルバハ論』

- エンゲルス葬送の海 124 / 本書のいきさつ 125
- ヘーゲルからフォイエルバハへ 127 / 弁証法的唯物論 129